

平成30年

2月

No.125

# 地域医療連携室だより



発行/和泉市立病院 地域医療連携室 (毎月1回発行)

電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331

FAX/直通 0725-41-2513

## 神経内科(脳神経内科)よりのご案内

春寒の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。これまで当院における脳神経内科(神経内科)は週2日のみの非常勤体制でありましたが、平成30年1月より私、濱田征宏と上野周一先生2人の常勤医師が加わりました。まだ赴任して間もなく不慣れな面もあるかと存じますが、なるべく近隣の先生たちのお力になれるように微力ながら協力させていただきます。

ここで、少し当科の紹介をさせていただきます。神経内科(脳神経内科)とは脳、脊髄、末梢神経、筋肉の疾患を対象としており、そこに生じた異常を様々な観点から原因探索を行い、治療を行う診療科です。症状としては頭痛、めまい、脱力や麻痺などの筋力低下、しびれ、歩行障害、意識障害、痙攣、不随意運動などを専門的に診させていただきます。更に当科は痙攣やジストニアなどの運動障害におけるボツリヌス治療にも力を入れています。

実際の疾患としましては髄膜炎、脳炎、てんかんなどの神経救急疾患、更にギラン・バレー症候群、重症筋無力症、多発性硬化症などの免疫性神経疾患や、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患を対象としており、とくに神経変性疾患に関しては発症初期から慢性期まで統括的な診療を心がけています。なお、いわゆる「心の病」は守備範囲が異なるためご注意ください。

今後の予定ですが、新病院に移転となる平成30年4月からは近畿大学医学部堺病院より中村雄作先生が赴任することで、更なる神経内科の診療体制が強化されます。この泉州地域における神経内科の拠点として努力していきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。



神経内科(脳神経内科)

医長 濱田 征宏

### 病院の理念



1. 患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に務めます。
2. 患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
3. 新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
4. 思いやりのある医療人の育成に努めます。

## お知らせ 外来診察変更



消化器内科	2月 2日(金)	尾野 亘 医師 休診	
		藤本 俊輔 医師 休診	
泌尿器科	2月 7日(水)・2月23日(金)・2月26日(月)	林 泰司 医師 休診	
	2月23日(金)	菊池 堯 医師 休診	
整形外科	2月 8日(木)	岸田 宗久 医師 休診	⇒ 中川 淳生 医師 代診
	2月21日(水)	江川 卓弥 医師 休診	⇒ 柴田 雄輝 医師 代診
	2月23日(金)	柴田 雄輝 医師 休診	⇒ 江川 卓弥 医師 代診
皮膚科	2月19日(月)	小澤 俊幸 医師 休診	
耳鼻咽喉科	2月13日(火)	西原 美沙子 医師 休診	⇒ 速水 康介 医師 代診
	2月23日(金)	阪本 浩一 医師 休診	

## ご紹介 新任医師

### 神経内科（脳神経内科）

はま だ ゆき ひろ  
濱田 征宏



平成30年1月より近畿大学より赴任してきました。

神経内科とは脳、脊髄、末梢神経、筋肉の疾患を対象としており、実際の疾患としましては髄膜脳炎、てんかん、ギラン・バレー症候群などの神経救急疾患、多発性筋炎、重症筋無力症、多発性硬化症などの免疫性神経疾患や、パーキンソン病などの神経変性疾患も得意分野としています。特にパーキンソン病におきましては泉州地域で唯一施行できるLCIG（Lドパ経腸管持続投与）療法を得意分野としています。和泉市を含め泉州地域の神経疾患を積極的に対応させて頂く所存でございますので宜しくお願い致します。

### 神経内科（脳神経内科）

うえ の しゅう いち  
上野 周一



はじめまして。1月から勤務させて頂いています、上野周一と申します。

今までは、近畿大学医学部堺病院で診療を行っていました。筋萎縮性側索硬化症や多系統萎縮症などの神経難病の診断から在宅療養までのサポート。またその方たちの、緊急時の入院加療やレスパイト入院をしてまいりました。一方、神経救急として脳炎・ギランバレー症候群・重症筋無力症などの急性期の加療も行っていました。南大阪で神経内科疾患を入院加療できる施設は少なく、神経内科医でなければ介入困難な疾患を積極的に見させて頂こうと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。